

中学部 3年生 音楽 年間計画

【2段階】

| 指導内容 | | 単元名 (仮) |
|---------|---|---|
| A 表現 | <p>ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導 生活単元学習</p> <p>(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㊦及び㊧について理解すること。</p> <p>① 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の㊦から㊧までの技能を身に付けること。</p> <p>㊦ 独唱と、斉唱及び簡単な輪唱などをする技能</p> | <p>(指導要領 P382～)</p> <p>○生活年齢、発達の段階に応じた、日常生活に関連した曲を取り扱う。</p> <p>○(イ)㊦</p> <p>歌詞を覚え、歌詞の表す情景や曲想についてイメージをもち、歌詞の内容を意識して歌ったり、リズムや音の高低を意識して発生したりする。</p> <p>○主となる歌唱教材については下記を含めた独唱、斉唱で歌う曲。</p> <p>※2年次に取り扱っていないもの</p> <p><共通教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼり ・子もり歌 ・スキーの歌 ・冬げしき ・越天楽今様 ・おぼろ月夜 ・ふるさと ・われは海の子 <p>○国歌は時期に応じて適切に指導</p> <p>・君が代</p> |
| | <p>イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導 生活単元学習</p> <p>(ア) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㊦及び㊧について理解すること。</p> <p>① 多様な楽器の音色と全体の響きとの関わり</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㊦から㊧までの技能を身に付けること。</p> <p>㊦ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能</p> | <p>(指導要領 P384～)</p> <p>○打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、友達の楽器の音も聴きながら一緒に合わせて演奏すること。</p> <p>○簡単な楽譜などを使って、友達と一緒に音を合わせて演奏すること。</p> <p>○曲のリズムや速度、その曲のもつ雰囲気などを感じて、そのことを生かせるような演奏の仕方を考えること。</p> <p>○(イ)㊦</p> <p>例:友達と一緒に演奏した時に、楽器の組み合わせなどを工夫することにより、音色や響きは変化するといったことを理解すること。</p> <p>※既習楽器、和楽器、諸外国の楽器</p> |
| | <p>ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導</p> <p>(ア) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㊦及び㊧をできるようにすること。</p> <p>㊦ 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。</p> <p>① 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㊦及び㊧について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。</p> <p>㊦ いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴</p> <p>① リズム・パターンや短い旋律のつなぎ方や重ね方の特徴</p> <p>(ウ) 発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の㊦及び㊧の技能を身に付けること。</p> <p>㊦ 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能</p> <p>① 音楽の仕組みを生かして、音楽をつくる技能</p> | <p>(指導要領 P386～)</p> <p>○設定した条件に基づいて即興的に音と選択したり組み合わせたりして、まとまりのある音楽をつくること。</p> <p>○(ア)㊦</p> <p>例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が見つけた音を使ってみんなで模倣したり、各自が工夫した音を使って友達と会話をしたりする活動 ・木、金属、皮など異なる材質や物を組み合わせて使ったり、同じ材質のものを使ったりして生じる音の響きを生かして表現する活動 ・線や図形、絵などを楽譜に見立てて声や楽器などの音で表す活動 <p>○ウ㊦</p> <p>例:「ソラシの3つの音を使い、一人一</p> |

| | | |
|-------------|--|--|
| | | 人が4拍で即興的に表現し、順番に「つなぐ」といったこと。 |
| | エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導 生活単元学習 | (指導要領 P388～) ○リズムの特徴や曲想に合わせて表現するとともに、友達と協力して主体的な動きを引き出すこと。 ○(イ)㉔ 例: ゆったり→弾んだ感じの変化について、旋律と和声のような音楽の構造との関係といったことを理解すること。 ○(ウ)㉕ 例: ・動きを合わせるために感じたことを話し合うこと ・出し合ったアイデアをまとめて動きに表すこと。 |
| | (ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつこと。 | |
| | (イ) 次の㉔及び㉕の関わりについて理解すること。 ㉔ 曲想と音楽の構造との関わり ㉕ 曲名や歌詞と体の動きとの関わり | |
| | (ウ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㉔から㉕までの技能を身に付けること。 ㉔ 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせるとまとまりのある表現をする技能 ㉕ 友達と動きを相談して、合わせて表現する技能 | |
| B 鑑賞 | ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導 | (指導要領 P390～) ○曲想と音楽の構造等との関わりについて理解し、曲や演奏のよさを言葉などで表現する。 ○(イ) 例: 曲の雰囲気や表情、味わい及びその変化と音楽の構造との関わり合いといったことを理解すること。 |
| | (ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。 (イ) 曲想と音楽の構造等との関わりについて理解すること。 | |
| 共通事項 | (1) 1段階と2段階の「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 | |
| | ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における動きと関わらせて理解すること。 | 指導のねらいに応じて適切に選択・関連付けて必要に応じて指導する。 <音楽を特徴付けている要素> ・音色 ・リズム ・速度 ・旋律 ・強弱 ・音の重なり ・和音の響き ・音階 ・調 ・拍 ・フレーズ <音楽の仕組み> ・反復 ・呼びかけとこたえ ・変化 ・音楽の縦と横の関係 |